

フォルダ監視ソフト 番ケン
操作マニュアル
Ver 3.2

フォルダ監視ソフト 番ケン もくじ



■ インストール	1
■ フォルダ監視 番ケンの起動	2
■ 監視フォルダ リスト画面	3
■ 監視フォルダ設定	4
■ 対象ファイル	5
■ 通知の有無	6
■ 後処理の設定	7

利用承諾

本ソフトウェアを使用することにより、本契約に同意したものとします。

本ソフトウェアは個人利用の場合5台までのコンピュータで使用することを可能とします。

法人や組織等での利用の場合はパソコン台数分のシリアルを購入をお願いします。

本ソフトウェアを複製、解析、改変することは、全体または一部であってもこれを許諾しません。

本ソフトウェアの品質上の改善、技術面の向上などにより、予告なしにバージョンアップすることがあります。

本ソフトウェアを利用することにより、直接または間接的に損害が生じても、作者(studio-moon.co)は一切の責任を負いません。

本ソフトウェアを使用した結果の影響に関しても、一切の責任を負いません。

本ソフトウェアの使用はすべて使用者の責任下においておこなってください。

フォルダ監視 番ケンのインストール



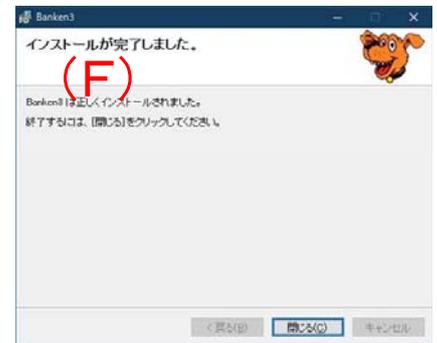
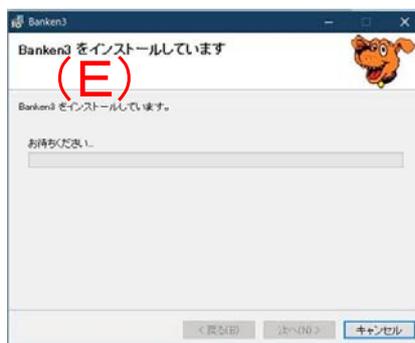
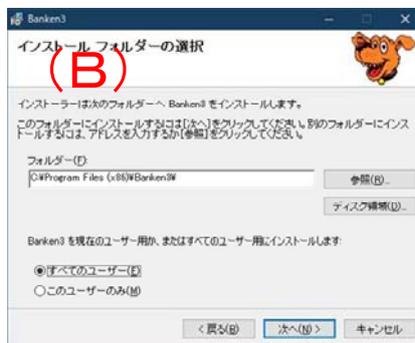
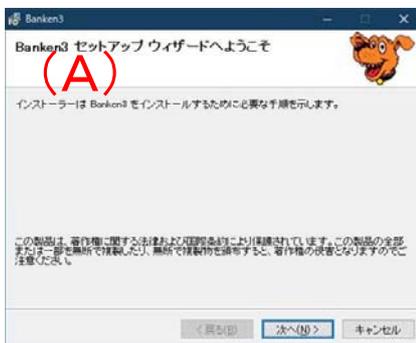
Banken302_Setup
.msi

① 圧縮ファイルの解凍

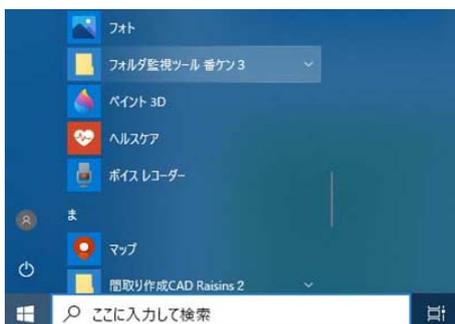
ダウンロードされた「フォルダ監視 番ケン」の圧縮ファイルを開いてください。
「README.TXT」と「操作マニュアル（本マニュアル）」
Banken302_Setup.msi のファイルが存在することを確認します。

② インストールの実行

Banken302_Setup.msi をダブルクリックしてインストーラーを起動します。
下図の (A) ~ (F) のように進んでインストールを完了します。



インストールが完了するとスタートメニューに「フォルダ監視 番ケン3」が登録され、デスクトップ上にショートカットアイコンが表示されます。



フォルダ監視 番ケンの起動

シリアル設定画面

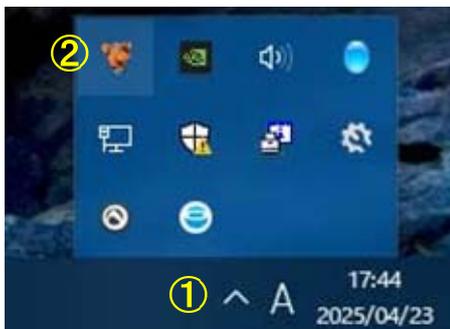


お試し期間中（14日間）は、本アプリを起動する度、シリアル設定の画面が表示されます。

継続利用のお手続きして頂きますと、シリアル番号が届きますので、シリアルNo.欄に入力してください。正式版として継続利用可能となります。

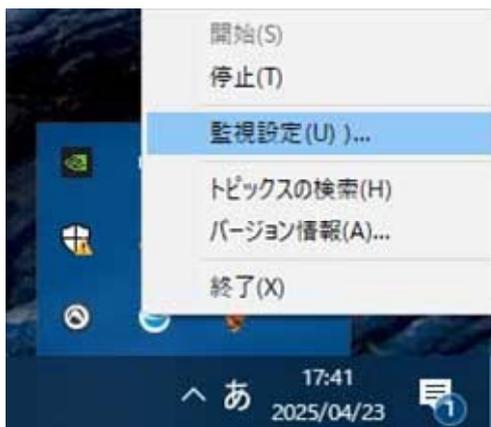
お試し期間中は、半角大文字英字で「GUEST」と入力して、ご利用ください。

ポップアップメニュー



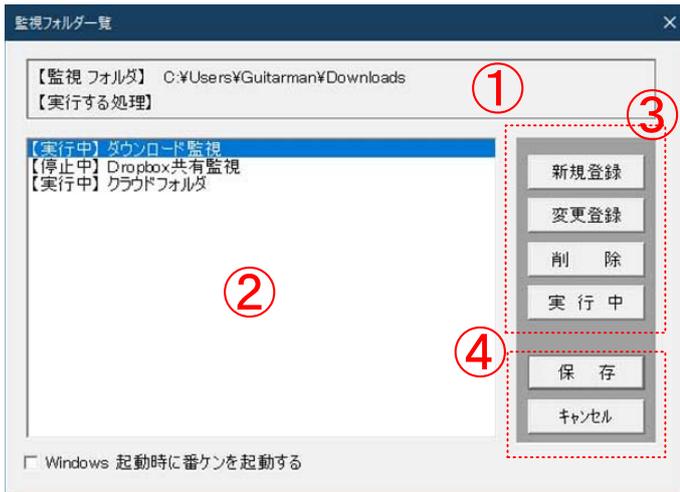
タスクバー右下の通知領域の三角マーク①をクリックして、隠れているインジケータを表示します。小さな消しゴムのアイコン②が「フォルダ監視 番ケン」のアプリです。

フォルダ監視 番ケンのアイコンをマウスクリックすると、ポップアップメニューが表示されますので、各種設定をおこなってください。



- ① 開始(S)
フォルダの監視を開始します。
- ② 停止(T)
フォルダの監視を停止します。
- ③ 監視設定...(U)
監視するフォルダの設定やアクションが発生した時の処理を設定します。
- ④ トピックスの検索(H)
ヘルプ情報を表示します。
- ⑤ バージョン情報...(A)
バージョン情報を表示します。
- ⑥ 終了(X)
本アプリを終了します。

監視フォルダ リスト画面 - 監視設定



① プロパティエリア

登録された監視フォルダと実行する処理などの情報を表示します。

② 監視フォルダリスト

登録された監視フォルダをリスト表示します。監視を実行中のフォルダの場合、頭に【実行中】と表示し、監視を停止の場合は【停止中】と表示します。

③ 登録編集ボタン

新規登録：新規にフォルダ監視を登録するための画面を表示します。

変更登録：変更したい監視情報をリストより選んで変更します。

削除：登録した監視情報を削除します。

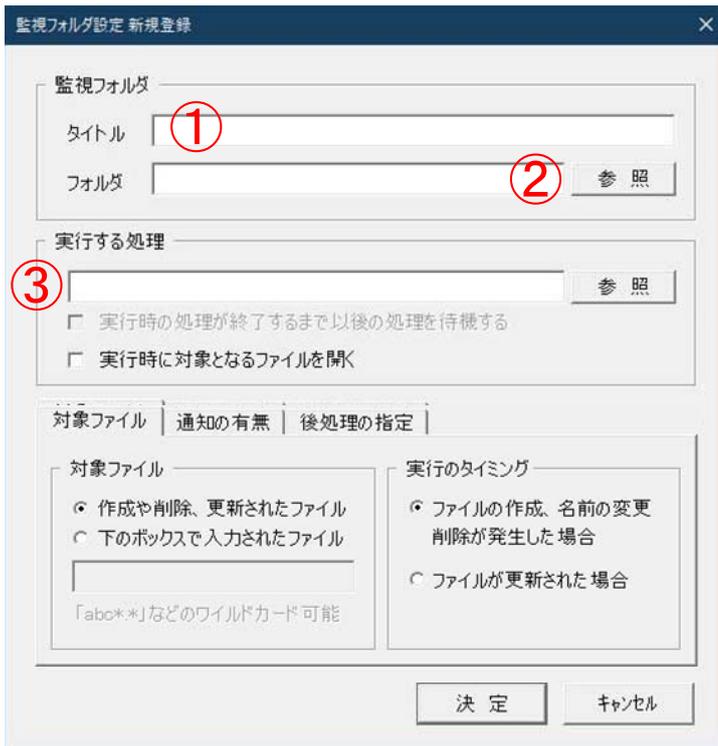
実行中／停止中：選択中のフォルダの監視を停止したり、監視状態（実行中）に切り替えます。

④ 保存ボタン

保存：上記で編集した監視情報データベースに保存します。
ここで保存しないと処理した内容が反映されません。

キャンセル：上記で編集した内容を破棄します。

監視フォルダ設定 - 監視設定



③ 実行する処理

監視フォルダに、変化が発生した場合、実行する処理を設定します。

イ) 実行プログラムを設定する場合

プログラムや音楽、映像などを実行する場合、入力ボックスに実行する処理を記述します。右側に参照ボタンをクリックして、プログラムファイル指定からプログラムを選びます。音声や映像を表示させる場合、プログラムファイル指定の右下のコンボボックスを「全てのファイル (*.*)」を選んで、実行したいファイルを選びます。



① タイトル

前画面のフォルダ監視リストに表示されるタイトルを入力します。

自由に入力できますが、フォルダに関連付けたタイトルがおすすめです。

② フォルダ

監視対象のフォルダを設定します。

「参照」ボタンをクリックして、フォルダ参照画面から対象フォルダを選び「OK」をクリックして、設定します。



ロ) 実行時に対象となるファイルを開く

「実行時に対象となるファイルを開く」にチェックを入れると、上部で入力した実行プログラムは無効となり、対象のファイルが開かれます。

チェックを解除すると上部で入力した実行プログラムは有効になります。

対象ファイル - 監視フォルダ設定

The screenshot shows a settings window with two tabs: '対象ファイル' (Target Files) and '実行のタイミング' (Execution Timing). The '対象ファイル' tab is active and contains two radio buttons: '作成や削除、更新されたファイル' (checked) and '下のボックスで入力されたファイル'. Below the radio buttons is a text input field containing 'abc*.*' and a note '「abc*.*」などのワイルドカード可能'. The '実行のタイミング' tab contains two radio buttons: 'ファイルの作成、名前の変更、削除が発生した場合' (checked) and 'ファイルが更新された場合'.

対象ファイル

監視する対象のファイルを指定します。

通常（デフォルト）では、作成や名前の変更、削除、更新などが発生したファイルを対象としています。

This close-up shows the '対象ファイル' tab with the radio button '下のボックスで入力されたファイル' selected. The text input field below it contains '*.xlsx'. The note '「abc*.*」などのワイルドカード可能' is visible at the bottom.

監視する対象ファイルを文章ファイルや画像ファイルだけ、或いは固定したファイルが更新した場合に実行したい場合があります。

その場合は、「下のボックスで入力されたファイル」にチェックを入れて、ボックスに監視したいファイル名（ワイルドカード可能）で入力します。

実行のタイミング

イ) ファイルの作成、名前の変更、削除が発生した場合

ファイルが作成された（共有フォルダなどにファイルを転送された）や削除された、またファイル名を変更された場合など、ファイルへの存在に関する変化のあった場合、設定された処理を実行します。

ロ) ファイルが更新された場合

既にあるファイルの中身（内容）が変更された場合に実行します。

通知の有無 - 監視フォルダ設定



通知

監視対象のフォルダに変化が起こった場合、メッセージや音で通知することができます。

イ) メッセージを表示させる

チェックを入れていると、監視フォルダに変化が起きるとポップアップメッセージが表示されます。「OK」ボタンで以降の処理が実行されます。

使用度は低いかと思われませんが、データ受待ちなど共有フォルダにデータがアップされたかを何度も確認する必要が要らなくなります。また、システム領域にウイルスが送られた場合などの確認にも役立つかもしれません。

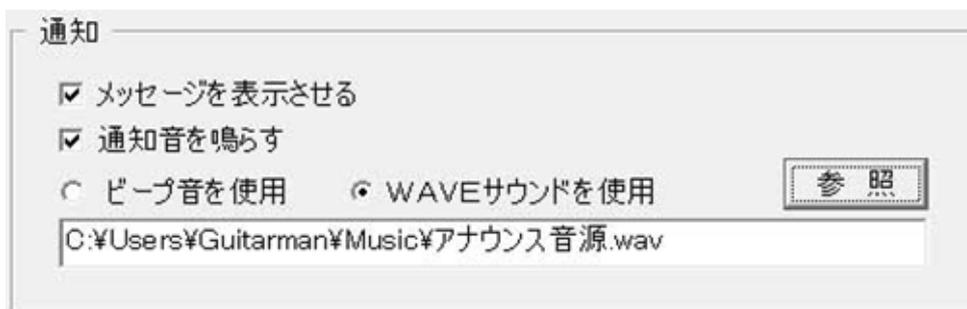


ロ) 通知音を鳴らす

監視フォルダに変化が起きると、音を鳴らして通知できます。

パソコンのビープ音の他、WAVEサウンドを「参照」ボタンより選ぶことができます。

ファイル通知のアナウンス音声等で通知することで、他の作業中でも音声で確認できます。



後処理の指定 - 監視フォルダ設定

対象ファイル | 通知の有無 | 後処理の指定

後処理

なにもしない

対象ファイルを別のフォルダへ移動する 参照

移動したファイルは上書きする

後処置

監視対象のフォルダに変化が起こった場合の後処理として、対象ファイルを別のフォルダへ移動させることができます。

例えば、ファックスが送られ、ファックスフォルダに画像ファイルが生成された場合、OCRソフトを起動させ、情報をデータ化した後、処理済フォルダへ画像ファイルを移動される場合や、ネットでダウンロードしたファイルをウィルススキャンした後、社内の共有フォルダに移動させ安全利用するなどを使用します。

イ) なにもしない

後処理が必要のない場合は、こちらを設定します。（デフォルトではこちらに設定されます。）

ロ) 対象ファイルを別のフォルダに移動

内容の変化が起こった場合の後処理で、設定したフォルダに対象ファイルを移動します。

「参照」ボタンをクリックし、フォルダ参照の画面から移動先のフォルダを選びます。

移動したファイルは上書きする

移動先に同一名称のファイルがある場合、上書きします。

本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

Windowsは、米国Microsoft Corporation の登録商標です。
その他、各会社名、各製品は各会社の商標または登録商標です。